



# 吉原

舞鶴市立吉原小学校  
学校だより



令和元年6月28日発行 No. 4



## 己の欲せざる所は人に施す勿れ



「己所不欲 勿施於人」は、春秋時代の中国の思想家で、多くの人にいろいろな教を残した孔子の教えの一つです。

「おのれのほっせざるところはひとにほどこすなかれ」と読み、意味は、己の欲せざる所は人に施す勿れとは、自分がして欲しくないと思うことは、他人にとっても同じなのだから、他人にすべきではないということ。つまり、自分がして欲しくないことは、絶対に人にするなという意味です。いじめの学習を通して、子どもたちは、人を思いやる大切さや言葉の持つ重要性等を学習しました。

勉強ができる・運動ができることは素晴らしいことだと思いますが、「己所不欲 勿施於人」を常ね心に持って生活することは、それ以上に人として大切なものだと思います。

## 思い出に残る修学旅行・・学校生活に生かそう

6月13日・14日の1泊2日の日程で、6年生の修学旅行があり、福井小学校と合同で奈良・大阪方面に行ってきました。事前学習で、福井小学校とも交流を持って、一人一人が目的意識を持って出発しました。両日ともに天気にも恵まれ、一日目は古都奈良の薬師寺（お坊さんの説明がユニークでわかりやすかった）や東大寺を見学し、大仏さんの大きさに感動し、案内ガイドさんの説明をしっかりと集中して聞き、熱心にメモをとりながら奈良時代に思いを寄せることができました。

また、楽しみにしていた、USJでは、グループでまとまって行動し、色々な乗り物に乗れ楽しい時間を過ごしました。二日目は、キッザニア甲子園で自分が選んだパビリオンをまわって、職業体験をしました。緊張した表情と楽しい表情とが入り混じった良い体験ができました。最後の見学地の大阪城では、今にも雨が降りそうで心配しながらの見学になりましたが、天守閣からの眺めは、気分爽快だったようです。また、家族や知人へのお土産を一生懸命に選んで買い物をしている姿は印象的でした。修学旅行を通して、ルールを守って行動ができ、司会や挨拶など自分の役割を責任持って果たし、社会的な視野が広がった思い出に残る修学旅行になったようです。



## 楽しみなプール学習

子どもたちの待ちに待った水泳学習も始まり、本格的な夏の訪れを感じる季節になりました。使用していなかったプールは、随分と汚れていましたが、全校児童と職員でプール清掃を行い、見違えるほどきれいになりました。きれいになったプールで、子ども達は歓声をあげながら、自分の目標達成に向けて、本年度からは、全校児童と一緒にプール学習を行っています。

校長 井上 憲正 教職員一同

## 1・2年 保幼小連携

6月19日(水)に相愛保育園の年長組と1・2年生で交流をしました。自己紹介や歌・遊びを通して、お互いの名前を覚えたり楽しく交流したりすることができました。

わたしのちいむは、みずいろちいむでした。はじめに、じゃんけんれっしゃをしました。つぎは、ふれあいあそびをしました。さいごは、だるまさんがころんだをしました。  
なかよくなれて、うれしかったです。  
(1年児童のふり返りより)



## 3年 魚のさばき方教室

6月20日(木)5・6校時に、「魚のさばき方教室」を実施しました。この取組は、毎年吉原子育て支援協議会にご支援をいただき開催しています。指導には、大注連縄会の皆様にお世話になりました。その日揚がった新鮮なアジを用意していただき、さばき方の説明を聞いてから三枚下ろしに挑戦しました。参加した3年生6名の児童は、丁寧に指導いただいたおかげで、少しずつ慣れて2匹目3匹目と挑戦していました。最後に、さばいたアジでフライやアラでとった味噌汁を作っていたいただきおいしくいただきました。ご指導いただいた皆様方、ありがとうございました。



- 魚のさばき方教室に参加して、ひっさつわざを2つおしえてもらって、とてもうれしかったです。魚を3まいにおろせてうれしかったです。みなづきしんじゃとかをきれいにしてくださっている方におしえてもらいました。
- いっしょにしてもらったので、魚さばきが上手にできました。さいしょは、でばぼうちょうをつかってきんちょうしたけど、教えてもらってとても上手にできました。これからも、家でやってみたいです。  
(3年児童のふり返りより)



## 4年 社会見学

6月4日(火)に上福井浄水場、西浄化センター、北吸清掃事務所、リサイクルプラザに福井小学校の4年生といっしょに行きました。各施設で自分の目で見たり、施設で働く方から話を聞いたりして多くのことを学びました。お昼は、文化公園体育館で仲良くお弁当を食べました。

施設を見学して、自分たちの生活に深いつながりがあることを知り、自分たちには何ができるのか考える機会となりました。

～上福井浄水場～

心にのこったことは、24時間はたらいっている人もいて、夜とまってはたらく人もいるということです。

おどろいたことは、配水池に水をためるといことです。大きかったのでびっくりしました。金魚を使ってどく物があるかないかを調べていることが分かりました。タンクが高い所にある理由は、ひくい所に置くとあつがなくなるから、なるべく高い所に置いていました。水のごみは、アルミニウムでかためるそうです。

～西浄化センター～

心にのこったことは、水をきれいにするび生物がいることです。アルセラ・ロタリア・エビスティリスなどです。これは、水のごみを食べるそうです。流水下水・活性汚泥のごみで汚れている水を食べています。び生物でよごれをとったり薬でよごれをまとめてそこにしずませたりすることで水のごみを取るそうです。

(4年児童の学習のまとめより)





## 5年 社会見学

6月21日（金）に、福井小学校の5年生と合同で、ダイハツ工業池田工場とNHK大阪放送局BKプラザに社会見学に行きました。子どもたちは熱心に見学して、メモを取ったり協力してバスのレクリエーションを進めたりすることができました。集団行動、交通安全、公衆道徳などを学習する機会にもなりました。今後まとめをして、2学期の社会の学習にもつなげます。



## 6年 修学旅行

6月13日（木）14日（金）に、福井小学校と合同で奈良・大阪方面へ修学旅行に行きました。

1日目は薬師寺・東大寺大仏殿・若草山・USJなどの見学をしました。2日目のキッザニア甲子園では様々な職業の体験ができ、また大阪城では天守閣から最高の景色を眺めることができました。

日本の歴史的文化財、近代建築にふれ、また2日間の福井小学校の友だちとの集団活動を通して、たくさんの学びがありました。



修学旅行の1日目、目的地の薬師寺に着きました。私は、長い話をじっとすわって聞いているのが1番きれいなことなので、少しきんちょうしていました。でもお寺に入って話を聞いていると、その方の話がおもしろかったおかげで、すごく楽しくなりました。

東大寺ではあまりの大仏の大きさに、とてもびっくりしました。私がびっくりしたのは、大きさだけではなく、昔の人がどうやってあんな上まで作ったのか、とても気になりました。

キッザニアでは、やりたいものが1番初めにできたので、とてもうれしかったです。病院の仕事をたいけんしてみても、すごくきんちょうするしごとだなと思いました。私は仕事をしているお母さんやお父さんは、とても大変だろうなと思いました。だから、お父さんとお母さんに感謝しようと思いました。

見学が終わって帰り道も、もう少しいたかったという思いもあったし、早くお母さんの所に帰りたいという気持ちもありました。やっぱりお母さんが1番だなと思いました。

（6年児童の作文より）

## プール掃除・プール開き

6月17日（月）に、プール清掃を行いました。全校児童がプールの中やプールサイドを、協力してきれいにしました。

6月26日（水）には、プール開きを行いました。10時間の水泳学習時間の中で、それぞれの目標の達成を目指して、水に慣れることや泳力を伸ばそうと、元気いっぱい学習しています。



## 城北中学校区PTA 合同人権講演会

6月21日（金）にPTA 合同人権講演会を行いました。NPO 法人こどもソーシャルワークセンター理事長の幸重忠孝様を講師にお招きして、舞鶴市西公民館で開催しました。

125名の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

～ひとりぼっちの子どもをなくす居場所づくり～

- 家庭や学校でひとりぼっちに苦しむ子ども若者たち
  - ・ 高校の出前授業で使っているアニメから
  - ・ 子どもたちの生の声から「20人の高校生の声」
- 地域でひとりぼっちをなくす取組
  - ・ 夕刻を支える居場所
  - ・ 子どもたちが気楽に来られる地域の居場所 他

